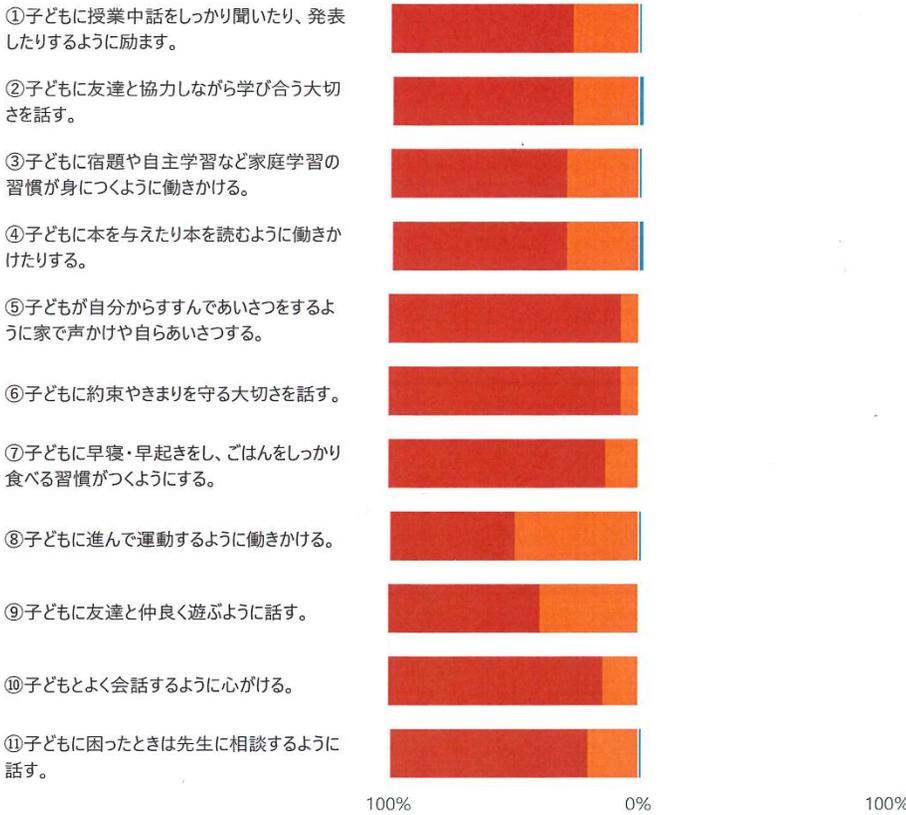




保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。先日はアンケートのご協力ありがとうございました。前期の学校教育アンケート結果をまとめましたので、お知らせします。

保護者 重要度

■ 重要である ■ やや重要である ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない



※学校教育アンケート（保護者・教職員・児童）の結果は、真ん中の0%を境に、グラフ左側が「やや重要である」「重要である」、右側が「あまり重要でない」「重要でない」を示しています。

文中の重要度は、「重要である」「やや重要である」を合わせた数値、実現度は、「よくできている」「大体できている」を合わせた数値を、全体に占める割合で表しています。

重要度の集計結果から

【保護者・教職員のみ】

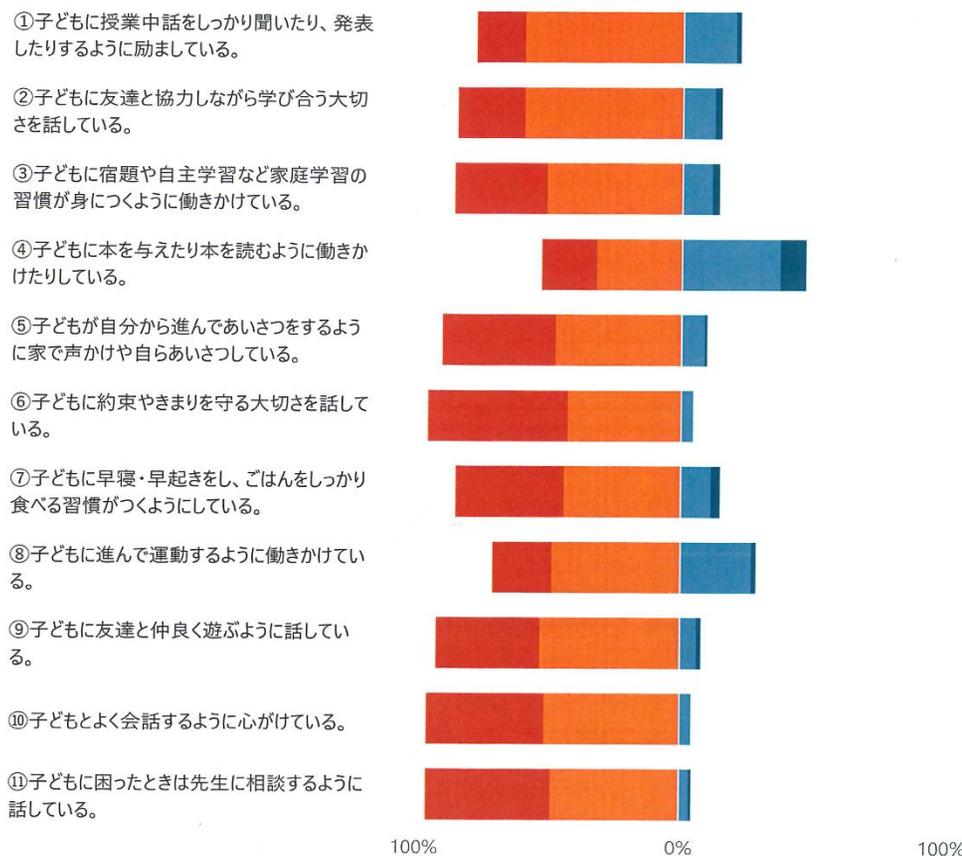
保護者の方は、全項目で98%から100%の重要度でした。

⑤あいさつ、⑥約束やきまり、⑦早寝・早起き・朝ごはん、⑨友達と仲良く遊ぶ、⑩子どもとよく会話するの質問項目はどれも100%の重要度でした。

特に、⑨友達と仲良く遊ぶの質問では、昨年度後期より上がり、人とのかわりを大切にしてほしいという保護者の方の思いがうかがえます。教職員は、全項目とも100%でした。

保護者 実現度

■ よく出来ている ■ 大体出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない



実現度の集計結果から

【保護者】

⑥約束やきまりを守る、⑩子どもとよく会話する、⑪困ったときは先生に相談するの質問では、96%と高い割合でした。お忙しい中ですが、お家で子どもとの時間を作り、話を聞いていただき、大変ありがとうございます。学校で起こったことは、家庭と学校が協力して解決していけたらと思いますので、今後も、ご家庭でお話されたことを教職員にも共有していただき、子ども達の成長をいっしょに見守っていきましょう。

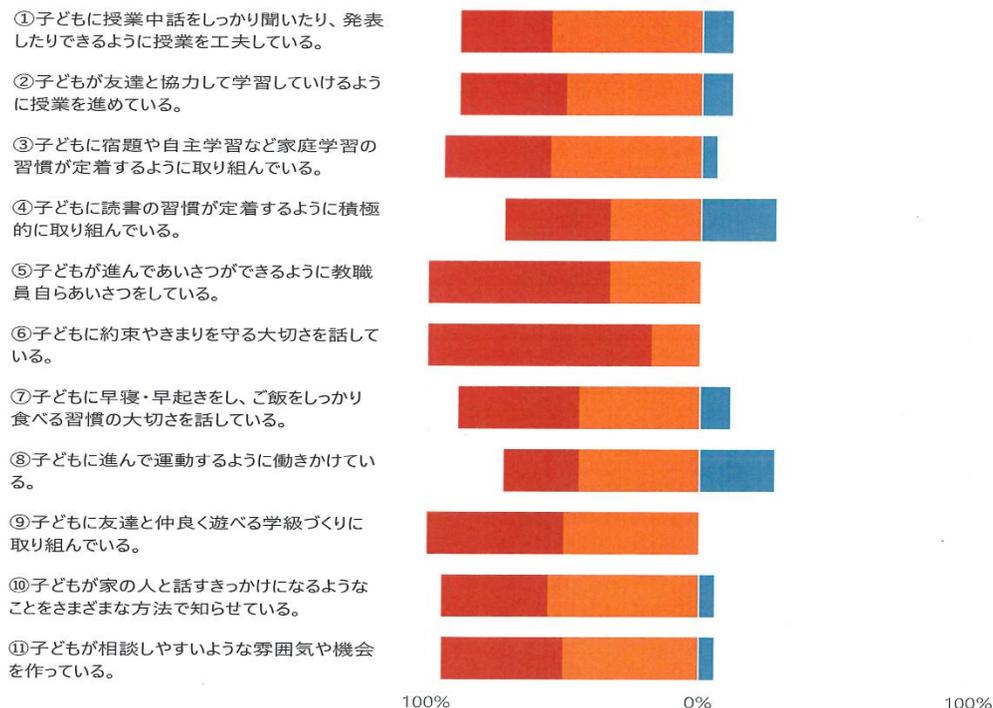


④読書の質問では、53%と低い割合になりました。読書は、国語の基礎力・思考力と密接に関係しているそうです。読書によって、長い文章が読めたり、漢字や言葉を習得したりすることができます。毎日、寝る前に10分間の読書をするなどの習慣をつけるといいかもしれません。



教職員 実現度

■ よく出来ている ■ 大体出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない



【教職員】

⑤あいさつ⑥約束やきまり⑨仲良く遊べる学級づくりの質問では、前回同様100%でした。
⑦早寝・早起き・朝ごはんの質問では、前回より少し上がり、89%でした。キズナ学習や食育などの授業でも生活習慣や自分の体を大切にすることについて学習しています。

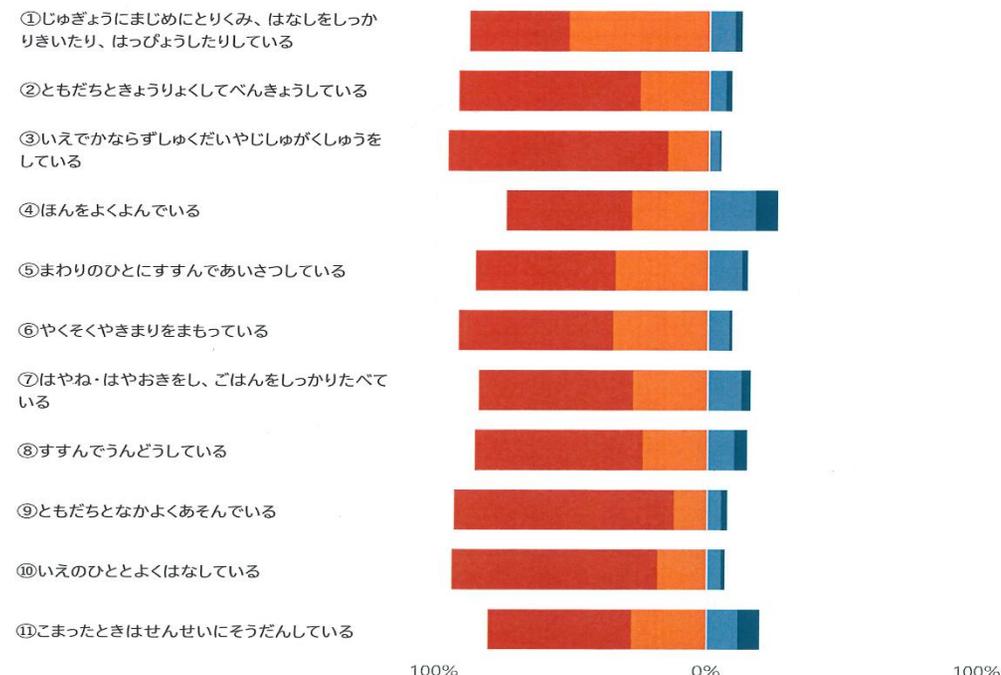


⑪相談しやすい雰囲気や機会を作るの質問では、前回より少し上がり、94%でした。保護者の方と同様、子ども達の話聞き、子ども達の気持ちに寄り添いながら活動していきたいと考えています。

④進んで運動の質問では、72%と低い割合でした。熱中症予防対策のため、運動場での活動を制限していたことが要因かと思われます。10月には、体育発表会もあります。子どもの安全に気をつけながら、運動する機会を設けていきたいです。

児童 実現度

■ よくできている ■ だいたいできている ■ あまりできていない ■ できていない



【児童】

③家で宿題や自主学習の質問では、実現度が一番高く、96%でした。①授業中まじめに取り組む、⑤あいさつの質問では、前回より上がっています。家庭や学校で学習する意欲が高まっていることがうかがえます。お家の方には、毎日の音読や宿題のお声かけのご協力をいただきありがとうございます。今後も引き続きよろしくお願いいたします。



④読書の質問項目は、前回に比べて実現度が上がりましたが、75%という低い割合でした。今年度から、昼の帯時間に10分間読書をしています。今後も、読書の習慣がつかうよう、より一層取組を進めていきます。

⑪困ったときは、先生に相談の質問では、81%の実現度でした。裏を返すと19%が実現できていないということです。困りごとや悩みを先生以外の人にも相談できていたらよいのですが、一人で抱え込んでいないか心配しています。学校には、担任以外の教職員や養護教諭・スクールカウンセラーなどいますので、お子さまの様子で気になることがありましたら、いつでもご相談ください。

自由記述欄から

「親が声かけをするのは簡単だが、子どもが行動できているかどうかは違うこともある」「困ったことがあれば先生に限らず、誰か大人に相談するという意味では大変重要だと思う」「学年懇談会での保護者の自己紹介を無くしてほしい」などのご意見をいただきました。声をかけるだけでは、行動しないなどの悩みは、たくさんの親御さんが感じたことがあるでしょう。小学生の子どもには、善悪を教えることも大切です。子どもの適切な行動を見逃さずほめることや、「なぜ必要なのか」本質を考えさせることで、子ども自ら進んで適切な行動をとるようになるとも言われています。わたしたち教職員も、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、くり返し指導していき、「夢に向かって輝く、竹田っ子」を育てていきたいです。いただいた全てのご意見は全教職員で共有し、今後の教育活動の取組内容に生かしていきたいと思ひます。

学校運営協議会より

「子どもとよく会話するように心がけるの」重要度と実現度が上がっているのは、良いことだと感じます。今後も、子どもとの時間を大切にしたいです。あいさつの重要度も高く、PTA、地域、保護者の見守りなどにより、引き続き登下校の子どもたちとのつながりを大切にしていきたいです。

学校教育アンケート全体を通して

成果として、子どもたちが友達と仲良く遊んだり、家の人とよく話したりしている実現度が高かったことは保護者の方のご協力のおかげだと思います。読書と運動の実現度が低かったことは、今後の課題として取り組んでいきます。これからも、教職員、保護者の皆様、地域の皆様が協力し合い、子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思ひます。後期もどうぞよろしくお願いいたします。